

まえがき

私の想い

まちづくりは人づくりそのものです。

特に小学生との触れ合いが大切だと思っています。勿論、三つ子の魂百までという言葉もあるように、小学校入学前の幼児教育の大切さは十分理解しておりますし、一人の人間形成という意味では最も重要な時期であります。この時期の家庭、保育園、幼稚園の役割は凄く重要であると考えております。しかし、私が小学生との触れ合いが大切だと思っておりますと申し上げたのは、あえてまちづくりという観点から考えた場合のことです。幼稚園、保育園児は我々のような地域の大人が単独で接する機会はずありませんし、公園等で保護者なしで単独で遊ぶこともありません。従って、私が考えるまちづくりという意味からすると、中々触れ合う機会もなければ集団生活のルールなどもまだ理解しづらいのかなと思います。しかし、個々の

それぞれの可能性は園児でも凄いものがあり、運動能力、記憶能力、読み書き計算等どんどん才能を発揮している子もあり、可能性の固まりです。今後益々、小学校入学前の子ども達の可能性が引き出される方向に進んでいくと思います。

さて、話を元にもどしますが、まちづくりは人づくりと最初に申しましたが、考えてみればもつともな事ですよ。

たとえば、まちづくりの一環で、ある地域が再開発されたとします。そこへおしゃれなお店がたくさん出来て、飲食店街も出来たとしましょう。これは、皆さんも似たような経験があるかもしれませんが、私の実体験です。ある、有名なお店が出来たので、友達と食事に行った時のこと。アルバイトだと思えますが店員さんの接客対応がひどく、最初に運ばれた水はテーブルにガン！と置かれ、メニューを見て悩んでいると、早く決めると！言わんばかりのうっとうしい顔をしている、料理を運んで来る時も笑顔ひとつなく黙ってテーブルに置かれる始末で、結局、折角の美味しい料理も気分の悪さだけが残って店を出ました。そして心のつぶやき。こんな店、二度と来るか！

これは、結局どんなおしゃれな店が入り、おしゃれなまちづくりが出来ても、やはり人づくりがちゃんと出来ていないと駄目！ という典型的な事例です。逆にお店は狭くて、決して飛び切り料理が美味しいわけでも、店員さんが底抜けに明るいか、話していて楽しい店員さんがいるお店の方がよっぽど又行きたいと思えますよね。というわけで、やはり人づくりが大切であり、そういう世のため人のためにつくす人を育てるのは小学生のころからの触れ合いが大切であると考えております。その人づくりこそが明るく元気で楽しいまちづくりの原点であると考えて話をすすめていきたいと思えますのでよろしくお願いします。

人のために何かするとか面倒くさいし煩わしいし、自分の事で精一杯でそんな余裕なんかない！ と考える方も当然いらつしやると思えますし、確かに現代社会においては人との付き合いが希薄化しているのも事実ですし、関わり方によっては、きれてナイフで刺されたりとか悲しい事件も起きている事も事実です。でもだからこそ、今一度、人の素晴らしさを見つめなおして考え直して、人のためなんか余裕ない、自分の事で精一杯だと思わず、積極的に人の役に立つために動いてほしいと思えます。何故なら、いずれ必ずや自分に返ってくるのですから。

さあ、世のため人のため、そして自分のための人生楽しみましょう！